

## 大吉だ！大凶だあ

### 『おみくじ』ってなあに？

今月は【おみくじ】について解説させていただきます。ちなみに皆さんは、初詣に神社やお寺に行つて【おみくじ】を引かれたご経験はありませんか？年の始めに、今年一年の運勢を試すという思いで【おみくじ】を引かれる方も多いかと思ひます。真成寺にも【おみくじ】をご用意しているのですが、2人に1人は【おみくじ】を引かれませんか？え。【おみくじ】って皆さん、あらためて聞くとは何だと思ひますか？【おみくじ】って何なんでしょう？（笑）

「個人の吉凶を占う」という【おみくじ】の形態が生まれたのは、鎌倉時代だと言われています。今では毎朝の報道番組なんかで、『今日の運勢』で、今日最も運の悪い人は、ごめんなさい「やぎ座」のあなた。運勢を回復する食べ物：…みたい

に、面白おかしくやっています。そんな毎朝の「占い」と、神社仏閣で引く「おみくじ」とは意味合いが違います。さあ、そんな【おみくじ】ですが、「やった〜大吉だった！」。「ええ〜大凶が出た…」と、出た卦（け）に一喜一憂するお姿を拝見することも少なくありません。それはそれで楽しそうで、お正月ら

しくて良いなあとも思ひますが、それはダメです（笑）。【おみくじ】の本来の意味をちゃんと理解してから、【おみくじ】を引いて頂くことが何より大切です。そこで解説！

### ●【おみくじとは？】

【おみくじ】というのは、「具体的な物事について、神様仏様の『判断を仰ぐ』という目的があります。おみくじに書かれている言葉は、神様からのお達し、天からのメッセージなのです。良い内容が書かれているものもあれば、厳しい内容が書かれているものもあります。たいていの【おみくじ】には「待ち人」・「失（う）し物」・「旅行」などの項目が書かれています。もし迷っていること、悩んでいること、知りたいことがある場合は、神様仏様に「ご判断をお願いします」「ご意思をお聞かせ下さい」と、お祈りした上で、【おみくじ】を引いて、該当する箇所を読んでみましょう。

【おみくじ】を神社の木などに結んで帰ってしまうのは、本当に勿体ないこと。「おみくじを神社の木などに結ぶ」というのは神社や、お寺側が言い出したことではなくて、何時の頃からか参拝者が始めた、民間習俗だそうです。

本来【オミクジ】は、お参りしてから引くものです。自分に必要な言葉を、神様仏様から頂けるのです。なのに、「アッ吉だわ・凶だわ…」ってダメ。そんなのどうでもいいの。それを日記や、部屋の壁に貼って、毎日読

み返すことが大事。そこに書いてある言葉が大事なんです。それなのに「吉」だ「凶」だってゲームみたいにやっている。それでダメだから木とかに結ぶ人いるでしょう？神社やお寺によつては、【おみくじ】を結ぶ所まで設置してあったりします。あれを設置してある神社の神主さんや、お寺の住職さんに話を聞くと、みんな同じ事を仰います。あれ端つこが取れる様になつていて、雨なんか降つてドロドロになつたら、チュルチュルチュルって、ゴミ箱に捨てるんですって（笑）。だから「凶」だとか何だとか関係ない。「神社でおみくじを引いたら凶だったのよ」などと話のネタにするだけで終わるのではなく、木に結ばずに、ぜひ持ち帰り、折につけ眺めては、自分への戒めとしましょう。

良からぬ卦が出た時ほど、神様の教えや、お諭しが大切です。自分が引いた【おみくじ】に書かれている、メッセージを大切にすることです。たとえ大凶でも、おみくじに書かれた助言をシッカリ読んで、気をつけて頂ければ、うなだれる必要もありません。また大吉だったからといって、浮かれすぎると問題です。自分への戒めとしてメッセージの内容を大切にしてください。

### ●【おみくじの注意点】

あと、【おみくじ】を引くには、1つ注意点がありません。それは、ある程度覚悟が必要となります。どんな覚悟が必要かと言え、「そこに書かれて

あるメッセージには、必ず従う」という覚悟です。たまに「気に入らない」「答え」は見なかったことにして、気に入る「答え」が出るまで、何度もおみくじを引く」という方もいらつしやいますが、せっかく神様仏様が教えて下さったご意思や、ご判断を無視するのは、お勧めできません。判断に迷っている時や、年の始めや、年齢の節目など、神様仏様に助言を頂くのが【おみくじ】です。大切なのは、引く目的にあります。

【おみくじ】を引く前に、こうやつて念じて下さい。

「本日はお言葉を頂戴したいと思ひます。おみくじに託して、私に良きメッセージを下さい」と。そうやつて目的を定めたら、迷わずに、念を込めて引いて下さい。すると、必ず的を射た、スピリチュアル・メッセージがそこに書かれているはず。多くは抽象的ですが、自分なりの感性を大事にして読み解いて下さい。おみくじは一回きり。毎日引くのもいけません。沢山ある中のたった1つを引いた。それは偶然ではありません。

### ●【まとめ】

・【おみくじ】は神様仏様から、あなたへの助言です。目的をシッカリ決めてから引くことが大切です。そこに書かれてある助言には、必ず従うという覚悟を持ちましょう。

・木などに結ばずに大切に持ち帰り、折につけ眺めては、自分への戒めとしましょう。

おみくじの起源については、概要欄に書いておきますので、ご興味のある方は御覧くださいね。

それでは・・・【おみくじ】のメッセージが、あなたの未来を開く足がかりになります様に：

### ●【おみくじマメ知識】

#### ▼おみくじの起源について

諸説ありますが、祭祀と政治が完全に一体化していた古代日本で、政治に関する重要な判断が必要なき、亀卜（きぼく）亀の甲羅を焼き、そのひび割れ方で吉凶を占う）などにより、神様のご意思を伺っていたのが、はじまりだといわれています。

▼『日本書紀』には、斉明（さいめい）天皇と中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）に対し謀反（むほん）を起こした有間皇子（ありまのみこ）が、「ひねりぶみ（細く切った数枚の紙にお言葉を書き、折りひねってくじにしたもの）」を選び取り、謀反の成否（せいひ）を占ったと書かれています。

▲『明治』という元号ですが、実は明治天皇が【おみくじ】を引いて決定したというエピソードもあります。【おみくじ】というのは、人知を超えた天からのメッセージということ象徴するかのようなマメ知識でした。

▲お守りや縁起物は持ちすぎない事です。

必要の無くなったお守りは、感謝して御炊きあげしてもらいましょう。縁起物も同じです。招き猫や熊手、破魔矢などの縁起物は、自分をポジティブに奮い立たせるアイテムです。そこに依存心は禁物です。

合掌 副住職 谷川寛敬



▲YouTubeチャンネル

『谷川寛敬』。

「チャンネル登録」& 「高評価」

よろしく願います

YouTube (YouTube) 『寛敬の部屋』

を配信中です。

左記のQRコードからも入れます。



皆さまから届いたリクエストや、ご質問などにも、お答えしていきます。YouTubeチャンネル

## 『寛敬の部屋』

ご視聴よろしく願います。

### ◎水子供養会

・毎月十三日

・午後一時半より

どなたでもご自由にお参り下さい。

### ◎唱題行脚実施中



・二月二十五日 午後一時半

### ※日程変更しています

ご一緒に行脚しませんか！

先月の参加者

副住職・高円富美子・谷川まり子・吉崎琴美・谷川知世